

# 「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称	保健衛生諸費（国保会計）[国民健康保険人間ドック等受診料助成事務事業]							
予算科目	款 5	保健事業費	項 2	保健事業費	目 1	保健衛生諸費	事業番号	1
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	保険年金 課 国民健康保険給付 係				課長名	岩野 秀夫		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2 - 5	
【施策名】社会保障の充実						総合計画書 (ページ)	63	
この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 東大和市国民健康保険被保険者数（年報年度平均人数）				
	人間ドック等を受診した40歳以上の東大和市国民健康保険被保険者で次の条件を満たす者 ① 受診日現在で東大和市国民健康保険の被保険者であること ② 申請日現在で、納期到来の国保税を完納していること			→				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 疾病の早期発見と予防により健康の保持増進を図る			② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 受診率 →				
指標の推移	③ そのために何をしましたか。 東大和市国民健康保険被保険者（40歳以上）が、人間ドックまたは脳ドックを受診した場合に、受診費用の一部を助成（上限23,000円）し、疾病の早期発見と予防により健康の保持増進を図る。 ①受診→②申請受付（資格確認・納税確認・書類審査） →③支給決定→④支払事務			③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 受診件数 →				
			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成29年度実績	平成30年度実績		平成31年度目標	令和2年度目標
経費	対象指標	①の数値	人	20,643	19,587	18,818		
	成果指標	②の数値	%	2.2	2.3	2.6		
	目標	②の目標値						
環境変化等	活動指標	③の数値	件	462	458	497		
	事業費（実績）		円	10,621,600	10,518,620	11,420,980	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	一般財源		円	10,621,600	10,518,620	11,420,980		
	特定財源		円					
	(うち受益者負担)		円					
	人件費 (自安)	所要人数(再任用以外)	人	120.0	120.0	120.0		
	職員人件費(再任用)	人						
	職員人件費(再任用)	円	516,000	516,000	516,000			
事業費+人件費		円	11,137,600	11,034,620	11,936,980			
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成4 年度					
	(2) 環境の変化		平成20年度から、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、生活習慣病の予防を目的に40歳以上の被保険者を対象に、特定健康診査を実施しており、一定の健診を無料で受診することができる。					

事業名称	保健衛生諸費（国保会計）【国民健康保険人間ドック等受診料助成事務事業】			
担当部署・課長名	保健事業費 課	国民健康保険給付 係	課長名	岩野 秀夫

5 市民等の意見	<p>この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について</p> <p>人間ドック（健診）の趣旨と国保の財政状況から、2重給付が生じないようにどちらかに制限したほうがよい。</p>							
6 市民協働	<p>(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">□ 取り組んだ</td> <td>取組手法：</td> </tr> <tr> <td>☑ 取り組まない</td> <td>【取組手法の種類】            ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成            ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）</td> </tr> </table> <p>(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点</p>				□ 取り組んだ	取組手法：	☑ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
□ 取り組んだ	取組手法：							
☑ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）							
7 課題	<p>(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（2）を転記）</p> <p>近隣市の調査を実施した。</p> <p>(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。</p> <p>近隣市を調査したところ、助成額の比較では、当市は高額であったが、疾病への早期発見等に資するためには、健康を意識向上させる観点から、助成額を減少させにくい。</p> <p>(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）</p> <p>今後は、上記理由から助成額を減少させにくいため、受診結果の提出を求め、健診受診結果に反映させ、交付金の増額を図る検討が必要。</p>							
8 施策貢献状況	<p>(この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。)</p> <p>施策名：社会保障の充実</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>なっている <input type="checkbox"/>環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/>類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）</p>							
9 今後の方向性	<p>(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）</p> <p><input type="checkbox"/>拡大 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>廃止</p> <p>【取組内容】</p> <p>制度改正時には、十分な周知期間、切替時期の調整及び関連規則の改正が必要となる。</p> <p>(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等</p> <p>結果の提出を求めた場合の規則改正と周知期間が問題となり、実施にあたっては、過去の申請者に内容を個別に周知する必要がある。</p>							